

### この号の内容

1. 2024 年度京都大学卒業式に出席しました
2. 2024 年度卒業セレモニーを開催しました
3. 2024 年 10 月生の予備教育課程修了式を開催しました
4. 2025 年度京都大学入学式に出席しました
5. Kyoto iUP 生の全体交流会を開催しました
6. 2025 年 10 月生選抜審査を終了しました
7. Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました
8. 2025 年 10 月生の予備教育課程開講式を開催しました
9. 2026 年 10 月生選抜審査を開始しました
10. 卒業生のインタビュー動画「Kyoto iUP Alumni Interview」を作成しました
11. Kyoto iUP 生の活躍

### 1. 2024 年度京都大学卒業式に出席しました

2025 年 3 月 24 日に 2024 年度京都大学卒業式が開催されました。3 月に京都大学を卒業した Kyoto iUP 生も学部学科や Kyoto iUP の友人とともに卒業式に出席しました。湊長博総長の式辞では、健全な批判的精神、他者への繊細な共感、そして自由で明るい楽観主義を備えた自立した社会人として歩いていくようにとの力強いメッセージが卒業生に贈られました。

式後は、仲間同士や集まった後輩たちと百周年時計台記念館前で記念写真を撮ったり、恩師を訪ねたり、各学部学科で行われるイベントなどに参加して、特別な一日を過ごしました。

※Kyoto iUP 生の卒業を祝う「2024 年度卒業セレモニー」については、次の記事をご覧ください！



卒業式の様子



晴れやかな笑顔を見せる卒業生

## 2. 2024 年度卒業セレモニーを開催しました

3月25日に、Kyoto iUP 生の卒業を祝うセレモニーを開催しました。卒業生は学部課程を無事に修了し、晴れて学士の学位を取得しました。

國府寛司理事・副学長（教育・学生・入試担当）による挨拶、大嶋正裕国際高等教育院長による祝辞の後、卒業生が日本語でスピーチを行いました。卒業生たちは、Kyoto iUP の教職員や仲間のサポートのおかげで素晴らしい大学生活を送ることができたことに感謝の気持ちを伝えました。また、Kyoto iUP でのかけがえのない経験を通して個人として大きく成長することができたと述べ、日本の企業への就職や大学院への進学など、将来の抱負を語りました。

その後、後輩を代表して2名のKyoto iUP 生が送辞を述べ、先輩たちの今後の更なる活躍に期待が寄せられました。最後に堤誉志雄Kyoto iUP プログラムマネージャーより祝福の言葉と、「京都大学も君たちのことを忘れません」という暖かいメッセージでセレモニーが締め括られました。

卒業生の輝かしい未来をこれからも応援しています！



2024 年度卒業生との集合写真

## 3. 2024 年 10 月生の予備教育課程修了式を開催しました

3月31日に予備教育課程修了式を開催し、23名の予備教育履修生が出席しました。國府理事・副学長（教育・学生・入試担当）の祝辞と、大嶋国際高等教育院長による修了証書授与後、予備教育履修生を代表して6名が日本語レベル別にスピーチを行いました。どの学生も、教職員への感謝の言葉や今後に向けた決意を流暢な日本語で語っており、半年間の日本語学習の成果を大いに発揮していました。

続いて、既に学部課程に進学している先輩Kyoto iUP 生が作成したビデオメッセージが放映されました。ビデオメッセージでは、この半年間の写真がたくさん使用されており、学生たちは懐かしい写真に笑顔を見せていました。最後に、堤Kyoto iUP プログラムマネージャーより、これから大学生活を始めるKyoto iUP 生へ向けて激励のメッセージが贈られました。



代表学生による日本語のスピーチ



2024年10月生集合写真

#### 4. 2025年度京都大学入学式に出席しました

4月7日に2025年度京都大学学部入学式が開催されました。3月に予備教育課程を修了し、学部入学のための試験に合格した Kyoto iUP 生 23 名も、新 1 回生として入学式に参加しました。当日は桜が満開で、Kyoto iUP 生は式後に会場近くの琵琶湖疎水や岡崎公園でも写真撮影をしていました。学部課程では、引き続き勉学に励むとともに、クラブ・サークル活動などにも参加して、日本人学生とともに学生生活を大いに楽しんでもらいたいと思います。



入学式での集合写真

## 5. Kyoto iUP 生の全体交流会を開催しました

6月25日に、Kyoto iUP 生と吉田カレッジオフィス教職員との交流会を実施し、卒業生を含む総勢73名のKyoto iUP 生と、17名の教職員が参加しました。大嶋国際高等教育院長による挨拶では、Kyoto iUP のこれまでとこれからについて、また、人と人との繋がりの重要性について話があり、学生たちは一人一人がKyoto iUP の不可欠な一員であるという認識を深めたようでした。続いて、堤Kyoto iUP プログラムマネージャーより、学業生活におけるアドバイスや、学生たちへの期待を込めた激励の言葉が贈られました。

その後の座談会では、グループに分かれ、近況から専門科目の勉強方法やキャリアに至るまで、様々なトピックについて語り合いました。学生たちは、普段話をする機会のない教員や学生とも交流し、お互いの話を興味深く聞きながら有意義な時間を過ごすことで、より絆を深めることができました。



集合写真

## 6. 2025年10月生選抜審査を終了しました

2025年10月に予備教育課程へ入学するKyoto iUP 生の選抜審査を2024年12月から2025年3月にかけて実施し、4月4日に合格通知を発出しました。

今回の選抜審査では、62か国・地域から過去最多となる795名の出願があり、80名が第2次選抜（面接審査）に進みました。選抜審査の結果、37名に合格を通知しました。今回新たにスロベニアとベルギーから合格者を得ることができ、これまでに受け入れたKyoto iUP 生の出身国・地域は22か国・地域となりました。今後も世界中から優秀な学生を迎えることができるよう、広報・リクルート活動に努めてまいります。

- 出願者数：795名（62か国・地域）
- 面接対象者数：80名（20か国・地域）
- 合格者数：37名（11か国・地域）
- 合格者の出身国・地域：

イギリス、インド、インドネシア、韓国、スロベニア、タイ、台湾、中国、フィリピン、ベトナム、ベルギー

## 7. Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました

夏休みの期間を利用し、8月から9月にかけて Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました。2025年度は株式会社日本触媒様にご協力いただき、Kyoto iUP 生向けのインターンシップを実施していただきました。加えて、京都大学物質－細胞統合システム拠点（iCeMS）で研究インターンシップを実施しました。貴重な機会を与えてくださった皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

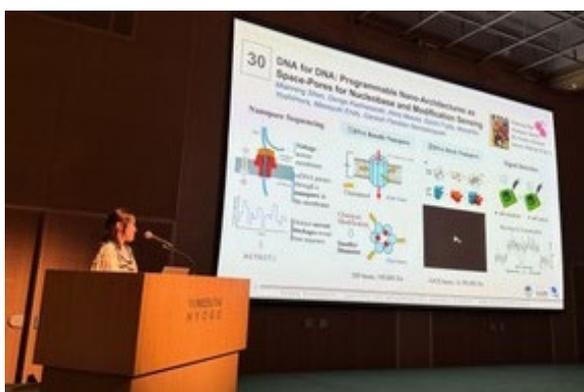
### ●株式会社日本触媒様

9月1日から5日までの5日間、コーポレート研究本部研究センターで Kyoto iUP 生1名を受け入れていただきました。「無機粒子へのナノカーボンコートと物性評価」というテーマで、研究員のご指導のもと、物質の合成やデータ処理・考察、物性評価等を行いました。実験そのものだけでなく、実験の背景から設計することや結果の解析もやりがいがあり、大学での学生実験の中で、装置の仕組みや分析手法の原理を理解していたことで、より効果的なインターンシップになったようです。インターンシップを通して、化学が企業でどのように活用されているのかを身をもって学ぶことができ、また、これからの研究計画や将来の進路について考える機会にもなりました。



インターンシップの様子

### ●京都大学物質－細胞統合システム拠点（iCeMS）



リトリートでの発表の様子

本学の研究室で実際に行われている研究を体験できる機会として、iCeMSと連携し、Kyoto iUP 生向けの研究インターンシップを実施しており、今年で3年目になります。今年度は Kyoto iUP 生4名がそれぞれ異なる研究室で、8月25日から9月19日まで約1か月間の研究体験と、9月29日・30日のリトリートに参加しました。授業とは違って、自分で試行錯誤しながら実験を進めていくという経験ができました。また、リトリートでのポスター発表では、様々な研究者の方々と話すことで、研究に対する姿勢やキャリアについて視野を広げる機会となりました。また、先生方や

先輩学生のご指導により、Kyoto iUP 生がポスター発表で1位に選ばれました。

インターンシップを通じて得られた経験は、Kyoto iUP 生の貴重な財産になることと思います。この経験を活かして、今後も大学での学びを深め、未来の日本社会を支える存在として大きく成長してくれることを期待しています。

## 8. 2025年10月生の予備教育課程開講式を開催しました

2025年10月生の予備教育課程開講式を9月30日に開催し、10か国・地域出身の35名の学生が出席しました。

初めに、國府理事・副学長（教育・学生・入試担当）が開会の挨拶を行い、京都大学の基本理念である「自学自習」について触れ、「自らが主体的に学ぶ態度を身に付け、何事にも真摯に取り組む意欲を高めてほしい」というメッセージを伝えました。続いて、大嶋国際高等教育院長より、「予備教育課程では多くのことを学ぶ必要があるが、困ったことがあれば Kyoto iUP の教職員が全力でサポートする」という言葉が贈られました。

次に、予備教育課程を担当する吉田カレッジオフィスの各教員が自己紹介をしました。堤 Kyoto iUP プログラムマネージャーの挨拶から始まり、学生たちは各教員の話に真剣に耳を傾けていました。

続いて、予備教育履修生が自己紹介をし、大学生活への抱負を発表しました。

10月から予備教育課程を開始しています。多くの新しい挑戦があると思いますが、仲間と協力して乗り越え、大きく成長していくことを願っています！



大学生活への抱負を述べる学生



2025年10月生集合写真

## 9. 2026年10月生選抜審査を開始しました

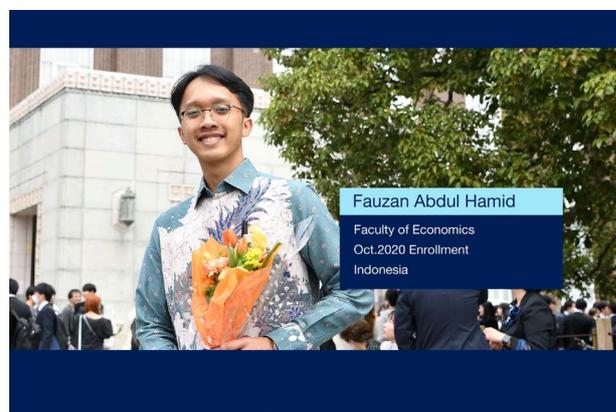
2026年10月に予備教育履修生として受け入れる Kyoto iUP 生の出願受付を11月4日から開始しました。選抜審査スケジュールは以下のとおりです。

今年度の受入人数は35名です。今年度も世界中から優秀な学生が出願してくれることを期待しています。

- 出願期間 2025年11月4日～2025年12月4日
- 面接審査 2026年2月27日～2026年3月16日
- 合格発表 2026年4月6日

## 10. 卒業生のインタビュー動画「Kyoto iUP Alumni Interview」を作成しました

2025年10月に Kyoto iUP の新しい動画「Kyoto iUP Alumni Interview」を Kyoto iUP の公式 YouTube で公開しました。この動画は、京都大学を卒業した Kyoto iUP 生に学生生活の思い出や将来の夢などをインタビューしたものです。現在は、2025年3月に経済学部を卒業した Fauzan Abdul Hamid さんのインタビュー動画を公開しており、今後、他の卒業生の動画も制作していく予定です。

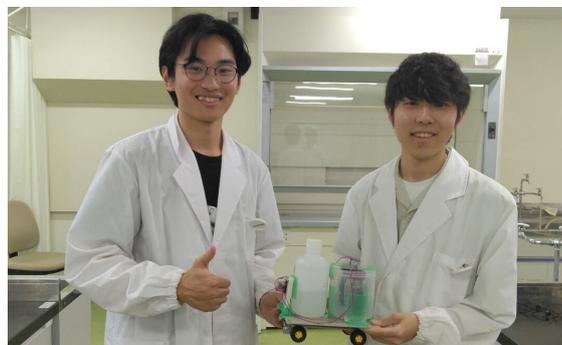


卒業生は全編日本語で話しており、英語字幕もつけておりますので、国内外の様々な方に楽しんでいただける内容となっております。ぜひご覧ください。QRコードからも動画をご覧いただけます。なお、Kyoto iUP では公式 YouTube のほか、Instagram でも情報発信をしておりますので、ぜひフォローしていただければ幸いです。

## 11. Kyoto iUP 生の活躍

- Chemical-Energy-Car Competition (ケムイーカーコンテスト)

工学部理工化学科3年生(当時)の Rattanasiwamok Mingkwan さんと同級生の上山瑛人さんで構成されたチームが、2024年8月25日に開催された公益社団法人化学工学会主催のケムイーカーコンテストで優勝しました。ケムイーカーコンテストとは、化学的な動力源と停止機構を自作し、それらを積んだ車を目標地点に正確に停止させることを競うコンテストです。チームは、充電式の電池が切れることで車が停止する仕組みを採用し、約4か月準備を重ねました。大会当日は予期せぬトラブルで急遽古い電池を使うことになりましたが、懸命な試行錯誤を重ねた結果、最後の走行において僅差で優勝を勝ち取りました。



Mingkwan さん (左) と上山さん (右)

- 第47回京都府民総合体育大会スケート競技会（フィギュア競技）

工学部理工化学科2回生（当時）のPalomar Wesley Gavin Goさんが2024年12月6日・7日に開催された第47回京都府民総合体育大会スケート競技会（フィギュア競技）のC級競技成年男子カテゴリーで2位に入賞しました。フィギュアスケート部の副キャプテンとして、長期休暇中の合宿や授業前に練習を重ね、この大会では難易度の高いダブルサルコウを成功させました。次の目標として、卒業までに国民スポーツ大会の出場権を得ることを掲げています。



メダルを掲げる Wesley さん

- 株式会社ファーストリテイリングスピーチコンテスト

農学部地域環境工学科1回生（当時）のWijaya Angeliqueさん、工学部建築学科2回生（当時）のNandar Oo Waiさん、総合人間学部2回生（当時）のNg Shan Yiさんが2月に開催された株式会社ファーストリテイリングのスピーチコンテストに参加し、Angeliqueさんが3位に入賞しました。このスピーチコンテストはファーストリテイリングでの職場体験を含め3日間に渡り開催されるもので、1日目と2日目にファーストリテイリングの歴史、経営哲学に関する講義、UNIQLOの店舗で研修を受け、最終日に「ファーストリテイリングへの私の提言」というテーマで日本語のスピーチを行うものです。コンテストを通じて、ファーストリテイリングをはじめとした日本のビジネスについて見識が深まり、日本語での発表力を向上させる良い経験となりました。また、他大学で日本語を学ぶ留学生と交流する良い機会にもなりました。



左から Angelique さん、Nandar さん、Shan Yi さん

### Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 京都大学学務部留学生支援課吉田カレッジオフィス事務室

Email: yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(\*を@に変えてください)



Kyoto iUP\_Kyoto University



@kyotoiup



<https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>